

【上田市】校務DX計画

2025年1月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	100%			
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	50%	100%			
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	50%	80%	100%		
選択項目	1.児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受けつけ、学校内で集計している学校の割合	70%	100%			
	3.学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信している学校の割合	10%	100%			
	17.職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めている学校の割合	13%	80%	100%		
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	・ 管理職の理解と関与が必要である。 ・ 職員のスキルにばらつきがあり、ICTを苦手とする職員への支援が必要である。 ・ 各市町村でシステムやツールが違うため、異動した先生方は慣れるまでに時間がかかる。				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	・ 校長会・教頭会等で情報共有を行う。 ・ ICT支援員による支援、教職員を対象とする研修会を行い、個々のスキルUPを支援する。 ・ 校務環境や校務DXの取り組みについて近隣市町村と積極的に情報共有し、環境の整備を推進する。 ・ 令和7年度より保護者連絡ツールを市内で統一し、欠席連絡と学校からの配布物のデジタル化を推進する。				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	・ 校務系・学習系ネットワークの統合について調査研究を進めるとともに、現行のセキュリティポリシーについて内容を検討する。 ・ 先進的に取り組んでいる自治体の情報を収集し、望ましい校務の在り方の検討を進める。				